



風の森学び舎 活動報告

2023/7/26
森の再生プロジェクト

森の再生プロジェクトの目的

【目的】

中山間地域に住む私たちが、日常的に感じている山や森への課題や想い。

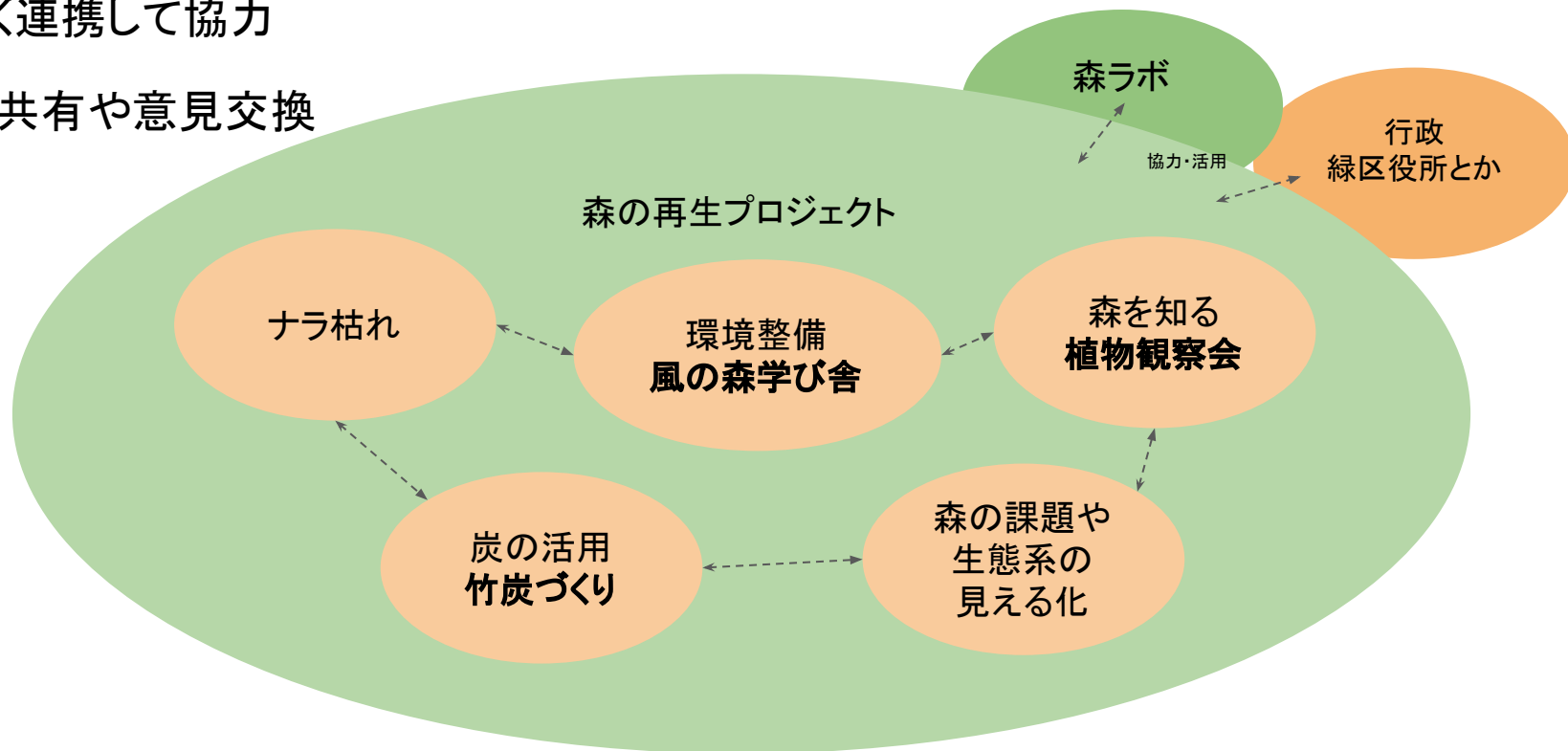
個人や小規模で活動してきたことを、『集団』という大きな単位に拡大。

地域へ広く展開・深く浸透させていき、持続的な自然環境を未来へ残す。

テーマごとにチームで動く

ゆるく連携して協力

情報共有や意見交換



ナラ枯れの現状を知る観察会@石砂山(22年4月)



山や森に意識を向けてもらう植物観察会



風の森学び舎とは

森の専門家や森に関わる人たちからお話を伺ったり、
森でのアクティビティを通して五感で自然を体験し、
森のことをみんなで考え実行していく活動。

『地域の中を風のように巡る』イメージから名付けました。

通称「風森」おもに里山環境整備



風の森学び舎 森の再生活動の概要

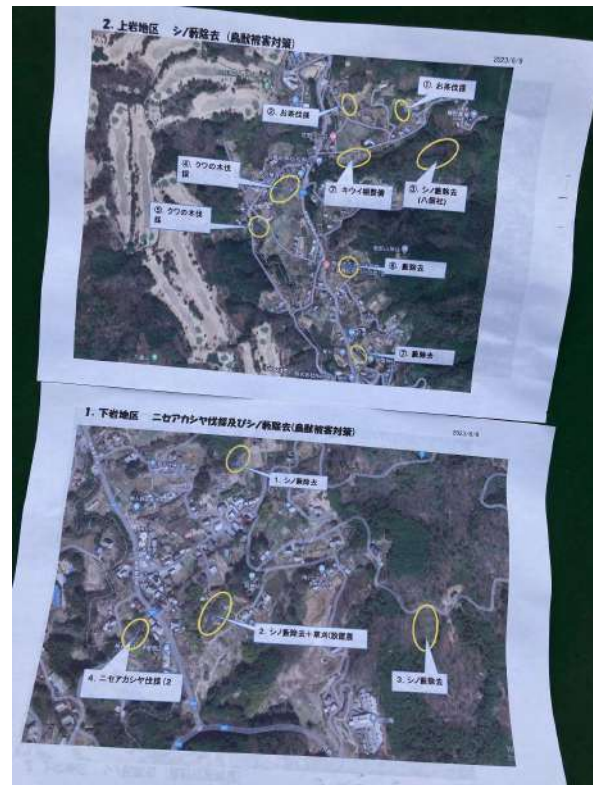
2021年の上野原市秋山での活動を皮切りに『小さなシャベルでできる森の再生』をテーマに相模川流域で展開中。
藤野ならびに周辺の住民たちの日常へ落とし込めるよう、毎月定期的に作業を行っています。

	2021年2月～	2022年3月～	2022年9月～
活動名	小さなシャベルでできる森の再生活動	風の森学び舎～風と水の流れる森づくり	風の森学び舎～風と緑のフィールドづくり
概要	<ul style="list-style-type: none">・大地の再生を用いた森の再生に取り組む1年プロジェクト・2月に矢野さんによる1日講座実施以降、藤井さんの講座と自主作業を毎月交互に開催(12月まで)・2022年1月以降はチーム森守単独で大地の再生以外の手法も取り入れて講座と自主作業を継続	<ul style="list-style-type: none">・以前『トランジション藤野』の森部が矢野さんと施工した場所での作業を復活・藤井さんの講座と自主作業を毎月交互に開催(2023年以降は自主作業割合を増やして活動を自走させる)・人の手作業で森を整備して『防災の森づくり』を地域に広めていく	<ul style="list-style-type: none">・公園管理にメンテナンス(環境整備)視点を取り入れ、自然を守り育てるコース作りを委託5年間で実現する・地域住民の参画を促し、吉野地区内の放棄地や沢、町道周辺の手入れを広げ「住民の手で未来に向けた自然の再生」を目指す
場所	上野原市秋山 CoToLiの森	相模原市緑区小淵(関野地区の山)	相模原市緑区吉野 (ふじのマレットゴルフ場など)
運営団体	チーム森守 NPO法人ふじの里山くらぶ	NPO法人ふじの里山くらぶ 森のイノベーションラボUJINO	NPO法人ふじの里山くらぶ 森のイノベーションラボUJINO 津久井グループ運営共同企業体 (公益財団法人相模原市まち・みどり公社/東海体育指導株式会社)

風の森学び舎 森の再生活動の概要

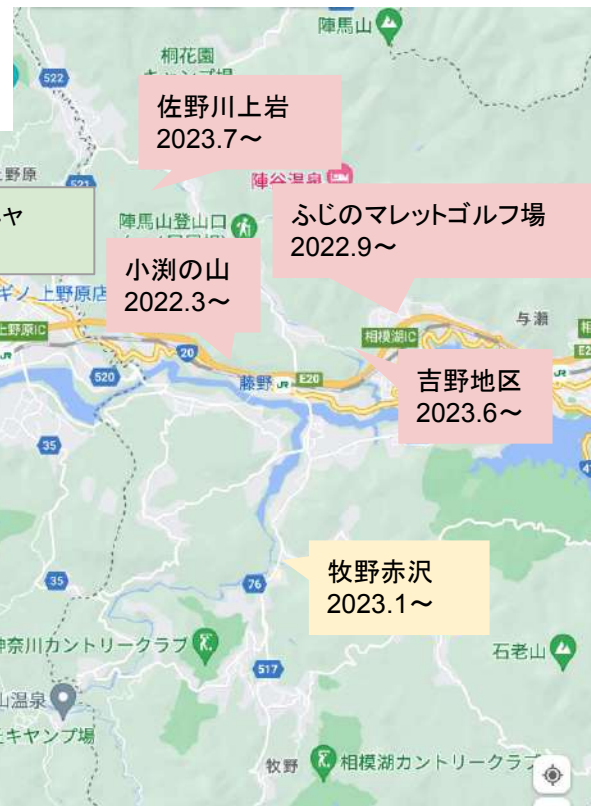
2022年の継続的な活動により作業場所の改善が見られるようになり、地域住民の中での認知も拡大中。
2023年も地域内の団体や自治体と連携を深め、作業場所の拡大を進めていきます。

	2023年7月～
活動名	風の森学び舎～人が行き交う里山づくり
概要	<ul style="list-style-type: none">・藪化と鳥獣害への対策として大地の再生の手法を用いた里山環境を開始・地域全体を俯瞰し、水や空気の詰まりポイント(藪化の要因)を人の手作業で改善していく取り組み・作業後の状態を定点観測し、これからの里山整備のロールモデルを見出す。
場所	相模原市緑区佐野川(上岩地区)
運営団体	NPO法人ふじの里山くらぶ 森のイノベーションラボFUJINO 佐野川地域おこしの会



桂川・相模川流域で連携した活動

藤野地区の作業場所を増やし、周辺住民が近場で参加しやすい場作りを推進。
大地の再生を用いた里山環境整備のネットワークを桂川・相模川流域で構築。
各活動チームと連携してノウハウや人材の共有を進めている。



2023年1～7月の活動実績

その前に
どんなことをしているかというと

大地の再生の視点・手法を用いた
人の手で行う作業

風の草刈り



水脈



点穴



土留め



土留め



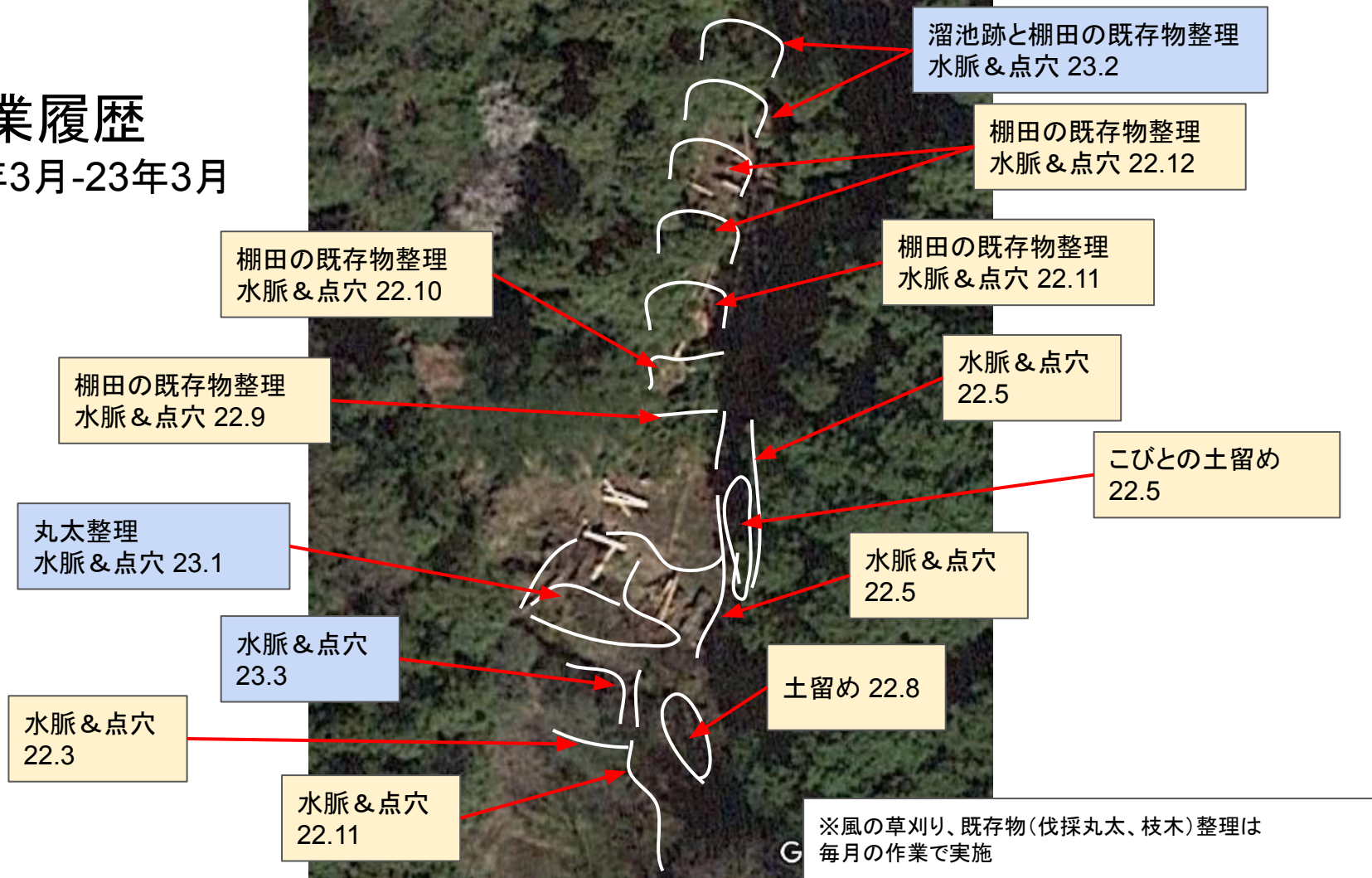
沢整備



作業状況とBefore,After
@小渕の山

作業履歴

22年3月-23年3月

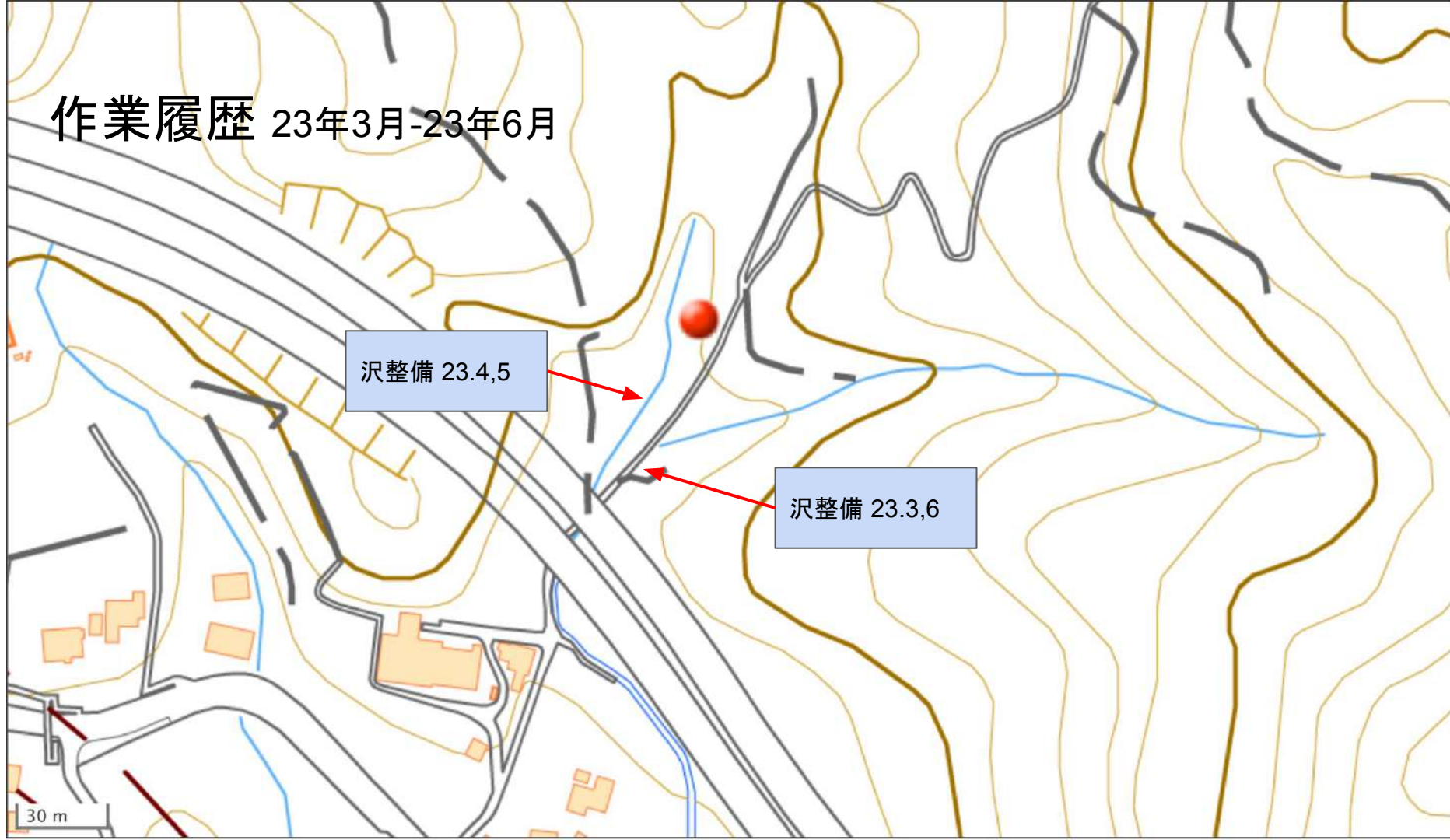


作業履歴 23年3月-23年6月

沢整備 23.4,5

沢整備 23.3,6

30 m



広場の1年前との対比

水捌け改善(長靴なくても歩ける)、腰丈以上の草が膝丈以下に



2022年6月



23年7月



沢整備の前と後

堆積物を除去して水の通り道を作ると、沢が出現＝水と風の通りがよくなる



長年放置して堆積物で詰まった沢



堆積物を除いて水の通り道を作った

作業状況とBefore,After
@ふじのマレットゴルフ場



2022年9月スタート

東側の斜面の環境改善に注力
(白枠部分)

頂上から事務所・駐車場に向けて
水が走り落ちていく状態

水の入口、出口の処置を実施

コースに水脈 & 点穴
22.9

土留め階段
22.10-23.1

フェンス際に点穴
23.4

高木まわりの点穴と水脈
23.4

コースに土留め
22.9

コース斜面に点穴
22.12

抵抗柵
23.3

フェンス際に水脈 & 点穴
23.2

坂の両側に水脈 & 点穴
22.12

入り口斜面変換線に水脈
22.12

水脈と点穴 23.7

フェンス・駐車場に点穴
23.3

事務所周りに点穴
22.12-23.2

フェンス周り藪払い
22.12、23.5



まだ大きな変化はありませんが

これまで草一つもなかったところに草が生え始め。土中の通気通水機能が改善してきたと思われます



坂の両側に水脈・点穴



周辺に土留め・点穴

その他の取り組み

竹炭 & 焼き杭作りで資材の循環

沢まわりの整備で出た枯れ竹をドラム缶で燃やして竹炭に。

作業中の火を使って焼き杭を制作→山の作業へ利用して資材を循環させる仕組みのプロトタイプができました。



津久井土木事務所 藤野班との連携

- ・市がやること
- ・インフラに影響する倒木や中高木の処理
- ・民間でやること
- ・路肩の草刈り、放棄地の整備

2023年8月のまちづくり会議(環境部会)から
藤野班メンバーも参加予定

- ・危険地帯(要整備箇所)の共有
- ・各地整備状況の共有
- ・相互の整備計画立て など

